

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年10月11日 NO.22

ドングリひろい！

10月4日（金）。1年1組の子ども達と、学校近くのSさん宅にドングリ拾いに行ってきました。Sさん宅には大きなクヌギやコナラの木があり、たくさんのドングリがなります。「よーい！ドン！」のかけ声で一斉に拾い始め、あつた言う間にビニル袋がいっぱいとなり、みんなほっこりとにんまり顔。ドングリを使い、生活科や図工の時間にいろいろな物を嬉々として作る姿が目につかびます。なお、2組は本日も行ってきました。

ところで、今回のドングリ拾いにはもう一つの目的があります。それは、学校に雑木林を作るため、ドングリを蒔いて苗木づくりをするという計画があります。同じ日の午前中に国体観戦に行った3年生は、市役所前でたくさんのマテバシイのドングリを拾ってきました。また、今後はカシやシイのドングリも拾い集めようと考えています。

本校は、幸いにも校庭が広く、特に裏庭にはやや広めの敷地があります。以前は学童保育所があったようですが、その後は、何も利用されていない状態であることから、雑木林づくりの計画を企画しました。まだまだ計画段階ですが、数十年後には、たとえ狭くとも武蔵野の雑木林の景観が楽しめ、また理科・生活・総合学習や環境教育の教材としての見本林となることでしょう。明るい落葉広葉樹の森は、多くの昆虫、野鳥のすみかにもなり、生物多様性や食物連鎖等の学習にも役立つことでしょう。今後、草刈り・土返し・土入れ・苗植えなどを行いながら、あまり焦らずに実施していくつもりです。15～20年後には、コナラ林ができあがる予定であり、伐採してからシイタケ栽培や、炭焼き体験なども構想に入っています。



稲刈り！

10月8日（火）。青く澄んだ秋空のもと、先週中止となった稲刈りが実施されました。黄金色の穂がたわわに実り、稲刈隊の5年生が出動。皆、カマを使うのは初めてのようでしたが、とても上手に使いしっかりと稲を刈ることができました。夏の酷暑の中、農業委員の方々が雑草を抜くなど、いろいろと世話をしてくれたそうです。心から感謝しましょう。

国立市内の5年生約550人で約300kg以上の稲が収穫できそうだということです。精米された米は学校に配布して下さり、その後、家庭科の調理実習で使用し、余りはご自宅に持って帰れます。たぶん量は少ないでしょうが、美味しく召し上がって下さい。



矢川探検！

10月9日（水）。心配されていた台風も、遠く日本海を北上ということで、多少風は強めではありましたが、雨に降られることもなく、無事に矢川探検に行ってきました。集団での歩行の約束もきちんと守り、しっかりと歩いていました。矢川駅にて大谷さんとも合流し、いざ！おんだしへ！ママ下湧水へ！

5月と同じように3つの場所での水温調べを行った後、網を使って魚やエビ・ザリガニ等を大量に取る事ができました。また、きれいな花や実、ドングリ等を袋いっぱい集めては、にっこり満足の子どものもいました。ハケ下に連なるコナラやカシ等の森の景色を楽しみ、また、秋の空を眺めながら楽しい一日を過ごすことができました。さらに、矢川緑地も散策することができ、国立の自然の奥深さも堪能することができました。国立市内をあちこちとたくさん歩いて、おなかペコペコの後の給食は、子ども達にとって、さぞかし美味しかったことでしょう。

